



《将来に向けた取組方針》

私たちは、生物多様性が生み出す生態系サービスの恩恵のもとで事業活動を行っています。よって、私たちは事業活動に伴うGHG排出や水の利用などが、生物多様性を支える自然資本に負の影響を及ぼすリスクがあるということにきちんと向き合い、そのリスクの低減に努めていきます。また、100年以上にわたる容器ビジネスで培われた各種素材の加工技術を駆使し、生物多様性の保全と回復に貢献する製品・サービスの開発と提供に力を注いでまいります。

〈具体的取り組み事例〉

樹脂ペレット漏出防止対策の徹底

- プラスチック製品の原料である樹脂ペレットの環境中への漏出ゼロを目指し、「樹脂ペレット漏出防止ガイドライン」を2019年に策定し、グループ共通で運用。



ペレット捕集用スクリーンの設置例

ブルーカーボンに貢献する製品の開発と販売

- 当社グループの東洋ガラス(株)では、ガラスに溶け込ませた有効成分がゆっくりと水に溶けだす「緩水溶性ガラス」を製造販売。藻場の養殖や珪藻増殖等に効果があり、ブルーカーボン生態系の保全と回復に貢献。



緩水溶性ガラスを貼り合わせたテトラポットに繁茂する海洋植物

〈今後の取り組み〉

自然資本への依存と影響の大きい活動を特定したうえで、拠点別にそのリスクの評価を進めてまいります。

〈社会に向けたメッセージ〉

生物多様性への取り組みを、私たちのビジネスを進化させる契機と捉えて、積極的に取り組んでまいります。